

令和元年度第2回蕨市消防委員会議事録

■日 時 令和2年2月19日(水) 午前10時～午前11時00分

■場 所 蕨市消防本部 2階会議室

■出席者(敬称略)

委 員 : 小林利規(委員長)、岡田正信、前川やすえ、武下涼

事務局 : 野崎好伴(消防長)、鈴木経一(総務課長)、小林順(予防課長)、
太田栄(署長)、川邊ユカリ(総務課長補佐)、田中宏明(予防課係長)、
下川岳(総務課副主任)、後藤壮志(総務課副主任)

■次 第

- 1 開会
- 2 消防委員長あいさつ
- 3 消防長あいさつ
- 4 審議事項
 - (1) 令和2年度消防本部所管歳出予算(案)の概要について
 - (2) 令和元年中の火災・救急の概要について
 - (3) 令和2年春季火災予防運動について
 - (4) その他について
- 5 閉会

■審議内容

(1) 資料に基づき、令和2年度消防本部所管歳出予算(案)の概要について説明

委 員 : 02 非常備消防費について、消防団員活動費は報酬と消防団の運営交付金が一
緒に入っているのか。また、その内訳はどのようになるか。

事務局 : 消防団員活動費には報酬、運営交付金、厚生活動費も含まれています。平成
31年度は93名、令和2年度は90名の団員数で予算を取っており、運営交付
金と厚生活動費においても団員数に基づく予算計上となるため、全体的に消防
団員活動費が若干減額しています。

委 員 : 運営交付金は団員数に基づいて分配しているのか。

事務局 : 基本額は同じですが、今年度は団員数の多い第6分団に加算額がありました。

委 員 : 令和2年度一般会計歳出予算額のうち消防費が占める割合が5%なのは、全
国平均や近隣市と比較してどのくらいなのか。

事務局 : 近隣ですと、平成30年度の数字ですが、川口市が3.2%、さいたま市が3.2%、

戸田市 3.2%、上尾市 4.1%、鴻巣市と北本市をカバーしている県央広域は 4.7%、伊奈町 5.2%です。

委員：このパーセンテージが増えた理由は塚越分署の建替えに伴う消防庁舎等整備事業費の増加が影響しているのか。

事務局：消防庁舎等整備事業費と主に市役所安全安心推進課所管の防災行政無線にかかる経費を計上している 05 災害対策費が増加したことが影響しています。

委員：資料 2 ページに記載の常備消防費の「三者間同時通訳委託料」は多言語に対応するものだと思うが、その仕組みはどのようなか。通報した際にどのようなタイミングで切り替わるのか。

事務局：119 番がかかると蕨消防の指令室で受信します。そこで、言語がわからない場合には、指令室から多言語対応のセンターに繋ぐことで通報者とセンターと指令室員の 3 名で同時に会話ができるシステムです。また、救急現場でも携帯電話からセンターに電話をかけ、スピーカー機能を使うことで三者間の会話が可能になります。

委員：昨年は台風 19 号による被害が各地でありましたが、今回購入するレスキューウエーダーは水害時のための購入とのことだが、その程度の装備で大丈夫ということか。それとも必要なものが他にもあるのか。

事務局：最近、集中豪雨が多い中、水害対策としての装備は、カッパしかありません。長靴はありますが、完全に水没してしまうと腰まで浸かれる装備は備えていないので、今回はレスキューウエーダーを 6 着導入し、頻度や消耗具合によって数を増やすことも今後、検討していきます。また、台風 19 号のような荒川決壊の危機が迫った時は、水位が更に高くこの装備では対応できないため、それについても順次検討していきたい。

委員：指揮車買い替え後の古い車両は廃車にするということではないか。

事務局：はい廃車です。

委員：古くてもセドリックは人気があるので、官公庁専用のオークションサイトなどに出せるのではないか。

事務局：他消防で車両を出しているケースもあるようですし、価値があるということであれば、そのような選択肢も出てくるのかもしれませんが、この車両は年式が古いため整備したくても部品がない上に、一つの窓は開閉できず、現場でバッテリーが上がり、署に帰れなかったことや途中で停止してしまったこともありましたので、車両として売るのは難しいのかなという印象です。

委員：走らなくても部品が売れる場合もあるのではないか。

事務局：市役所の財政課と相談してみます。

委員：指揮車の更新について、サイズは以前とずいぶん変わったようだが、機能的

に変更はあるか。

事務局：機能的には特別な変更はありません。ただ、活動時に指示を飛ばしたり、指令室とやり取りをするための無線、夜間時に現場で指揮本部を作る際に必要になる発電機や照明器具、空気呼吸器や夏季は特に必要になる多めの飲料水などを積載することが可能になります。

委員：機能的になったということですね。

事務局：そうです。セドリックよりも車内空間が広く、乗車可能人数も増えるので人員搬送にも使用できるのかと思います。

(2)資料に基づき、令和元年中の火災・救急について説明
特に質疑なし

(3)資料に基づき、令和2年春季火災予防運動について説明
特に質疑なし

(4)その他

・朝霞市、和光市、新座市、志木市を管轄する埼玉県南西消防本部管内において新型コロナウイルス陽性の患者を搬送し、保健所からの指示により救急隊員は2週間の自宅待機となる事案がありました。社会的影響の大きい新型コロナウイルス感染予防対策として、蕨市消防職員は、国・総務省消防庁からの通知に基づき具体的な対応を取っています。飛沫感染に対し、ゴーグル、マスク、手袋、感染防止衣を着用し患者の飛沫を活動隊員に入れないよう措置。対応が終わった後は、手洗い、うがいを実施、使用資機材と車両を消毒。そして、県と国へ報告、保健所との密接な連携を取り対応しています。

・平成27年の台風による鬼怒川決壊の水害被害のあった茨城県常総市への行政視察について説明

(※令和2年4月20日実施予定の視察は、新型コロナウイルスの影響により見送り)

・消防委員の参加行事について説明。令和2年度から蕨戸田支部の事務局が戸田市に2年間移るため、支部特別点検は戸田市での開催になります。

以上